日刊 動労千葉

80.2.15

No. 351

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一一八（動力車会館）

（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

狭山再審棄却弾劾！無実の石川さん奪還！

2.12-13怒りの連続闘争を打ち抜く！

＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊

2・13狭山再審棄却弾劾・無実の石川一雄氏奪還・再審貫徹緊急一万人集会が、2月13日、午後2時から東京・日比谷野外音楽堂において部落解放同盟をはじめ、全国の闘う労働者・人民の大結集をもって開催された。　この2・13緊急集会は、部落解放同盟の主催で、去る2月7日、東京高裁四ツ谷裁判長が下した狭山再審棄却の全く許すことの出来ない反動的な決定に対する部落解放同盟をはじめとする全国の労働者・人民の怒りを結集して前日の12日に引き続いてかちとられた。　動労千葉からは、青年部を中心に代表30名が参加し、狭山再審棄却弾劾・再審貫徹・石川さん奪還にむけて、部落解放同盟千葉県連の仲間をはじめ、県下労働者と共に集会・デモを貫徹したのである。

＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊☆＊

怒りにもえ、闘う決意に満ちた石川さんのメッセージ

2・13緊急集会は、日比谷野外音楽堂をうめつくす大結集の中で進められ、つぎつぎと2・7東京高裁決定に対する怒りにもえた弾劾と石川さんをわれわれの手にとりもどすまで闘うとの固い決意を込めた発言に、全参加者が一つ一つ拍手で応え、熱気につつまれた集会としてかちとられた。

石川一雄さんからの怒りにもえ、闘う決意を込めたつぎのようなメッセージ（要旨）が読み上げられる。

「このたびの再審棄却に満腔の怒り……。弁護士、支援の活動で新証拠を発見したのに……怒りの涙を禁じえない。

権力犯罪を暴露し、勝利するまで闘う。支援にささえられ、勝利する日まで闘う。私に筆があるかぎり真実を訴え続ける。どうか私にご協力下さい。

一九八〇・二・一三」

全くデタラメな再審棄却決定！

東京高裁・四ツ谷裁判長の下した再審棄却の論拠は、全くデタラメなものであり、ただただ石川さんの無期判決をなにがなんでも貫こうとする姿勢に満ちみちている。

すなわち、新たに発見された脅迫状の日付けと警察による拷問と誘導による「自白」の日付けの違いという決定的な新たな物証一つをとってみても、高裁四ツ谷裁判長は、「いずれも、すでに裁判所の判断を経ており、再審理由の新たに発見した証拠にあたらない」などと弁護団が再審請求の理由として提出した10項目の証拠に対して全くデタラメな理由をもって棄却したのである。

裁判所の「判断」は、絶対であり、批判は許さないという極めて超反動的な論理をもって再審棄却決定を下したのである。

この東京高裁2・7決定が、明らかに、狭山闘争解体・部落解放運動に対する一大攻撃である。

狭山闘争勝利にむけ一層闘い抜こう！

イラン・アフガニスタン情勢、石油危機など激動する世界にあって日本支配階級は、危機にかられた戦争と侵略政策を強引に推進し、国内にあっては、三里塚とならんで大衆闘争の基軸たる狭山闘争をなんとしてもたたきつぶし、国内総動員体制の確立をねらっているのである。

われわれは、このような東京高裁の差別にみちた反動的決定を許さず、あくまでも再審貫徹、無実の石川一雄さんをとりもどさなければならない。狭山闘争勝利、三里塚・ジェット闘争貫徹・国鉄35万人体制粉砕の闘いを一層前進させよう。

2•16

80年代をたたかう
労組活動家懇談会

とき　2月16日(土)午後1～9時
ところ　千葉県労働者福祉センター
よびかけ
国鉄千葉動力車労働組合
協賛
三里塚芝山連合空港反対同盟

3•2

三里塚労農連帯・80春闘勝利
80年代を闘う全国労働者集会

とき　3月2日(日)正午～午後6時
ところ　千葉県文化会館（千葉市）
主催　国鉄千葉動力車労働組合
協賛　三里塚芝山連合空港反対同盟
基調報告　国鉄千葉動力車労働組合
報告、発言　全逓・全電通　他

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！